

一 般 質 問

発言者 大 山 高 子

発 言 の 要 旨 (その1)
1 災害時におけるトイレの確保・管理について
(1) 災害時トイレ確保・管理計画を策定し、これまでの取組の体系化と発災直後から復旧までを見通した実行性ある体制構築の考え
(2) 福祉避難所や指定避難所の福祉スペース等へ、自動ラップ式トイレを導入する考え
(3) 危機管理課が中心となり、関係課と連携し、公衆トイレ169基の中から、災害時に活用可能な施設を把握し、使用可否の確認、清掃・消毒・物資補充、汚物・し尿処理について、行政、地域、民間事業者等の役割分担を明確にする考え
(4) 避難所、公園、観光地等のトイレに、使用の可否などをピクトグラム、やさしい日本語、英語等で掲示物を平時から準備する考え
(5) 災害用トイレの具体的な備蓄目安や断水時の使用方法、携帯トイレの使用・保管・処理方法などをより実践的に周知する考え
2 介護を支える人を支える取組について
(1) 地域資源を生かし、家族介護者のSOSを早期に把握して必要な支援につなげるアウトリーチ型支援を強化する考え
(2) 在宅介護従事者が安心して働ける環境づくりと安全確保を、今後どのように進める考えか。
3 産後ケアの充実と安心して子供を産み育てられる環境づくりについて
(1) 県外から里帰り出産をする母子が、産後ケアを利用できる仕組みを検討する考え
(2) 多胎児家庭について産後ケアの利用回数を上乘せするなど、育児負担に応じた支援を検討する考え
(3) 通所型産後ケアの実施事業者の運営状況等を把握し、県に委託料の見直しを働きかける考え
(4) リトルベビーとその家族に寄り添った支援
① 乳幼児健診では、修正月齢を踏まえた受診時期や健診日時への配慮など、柔軟

発 言 の 要 旨 (その2)

な対応を検討する考え

② 産後ケアの利用実態やニーズを把握し、修正月齢や退院時期を踏まえ、柔軟な

対応を検討する考え

③ 専用ページを設け、情報を一元的に分かりやすく発信する考え

(5) 男性職員の短期間の育児休業に対応できる代替人員を機動的に配置する仕組みや、

育休取得者の業務を担う職員の負担・貢献に報いる仕組みを検討する考え